

特別委員会 北海道研修

議会報告会を全国で2番目に実施し、議会改革・活性化の先進的活動をしている北海道栗山町、ワイン特区など6次産業化に取り組みマツサンの町として全国に知られている北海道余市町を視察した。また、当町の議会基本条例制定にご指導いただいた北海道町村議長会前事務局長 勢旗三氏と意見交換を行い、議会活性化のアドバイスをいただいた。

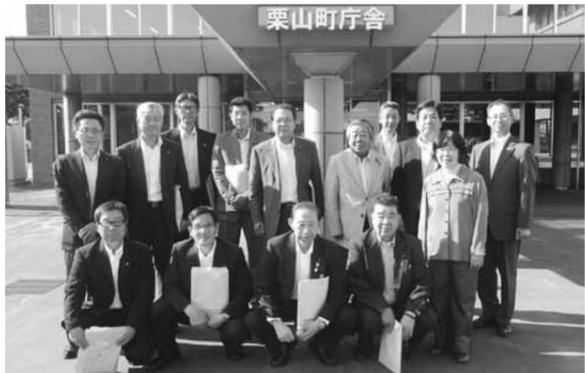


勢旗前北海道町村議長会事務局長との懇談

栗山町 6月28日(火) 議会運営、活性化の取り組み

全国初の議会基本条例の制定

栗山町は、人口1万2457人、議員数12名で全国に先駆けて議会改革・活性化に取り組んできた。議会基本条例を平成18年5月に制定し、議会改革推進会議の設置、議会議員政治倫理条例を盛り込むなど、これまで7回にわたる改正を行い、透明性の確保や議会モニターを導入している。また、議会基本条例の特徴として、議員の質問に対する町長や職員の間問権を付与、正副議長志願者の所信表明の実施している。現在、



栗山町議会の皆さんと

政務活動費の使途が問題になっているが、議員の政治倫理を明確に示し、透明性を確保し、議会改革に取り組んでいる結果、平成26年9月に政務活動費の年額を9万6千円から24万

円に大幅な引き上げをおこなった。
北海道新聞が取材
当日は、北海道新聞社栗山支局長が、当町の視察の様子を取材に訪れた。視察終了後、柴田議長が視察の目的、成果などコメントを求められ写真入りで7月13日の北海道新聞に掲載された。その他、議会運営、議会だよりの作成についても学ぶ点が多く、栗山町議員と活発な意見交換をおこなった。今後、金山町で導入すべき事項の検討を行い、町民から活動が見える存在感のある議会になるよう努めていく。



北海道新聞からの取材

余市町 6月29日(水) 6次産業化とワイン特区

マツサンゆかりの地 余市町は、人口1万9804人、議員数は18名で札幌市から1時間30分程度に位置している。平成26年NHK連続ドラマ「マツサン」ゆかりの地として全国に名を広め、新たな観光振興と地域活性化に取り組んでいる。気候は北海道でも温暖な地



余市町6次産業化

ツカ余市蒸留所、ニシン漁の栄華がしのばれる旧余市福原漁場など史跡や観光スポットも多く、余市湾から水揚げされる水産物も豊富で、お土産品も多くあり、平日にもかかわらず観光客で賑わっている。

ワイン特区で6次化

研修では、ワイン産業の振興と「ワイン特区」について説明を受け、振興策として、新たに隣の仁木町と連携し、国からの交付金を活用した、ブランド発信力の強化、栽培・醸造環境強化、人づくりを重点としたワインツーリズムプロジェクト事業を展開している。地元の資源を活かした6次産業の取り組みについては、現地を視察し、地域の活性化、観光振興に大きく寄与していることを認識したところである。

岩手県山田町議会視察来町

(6/27)

当町議会の議会活性化の取り組みと議会基本条例制定の経過や、街並みづくり百年運動について視察するため、岩手県山田町議会の皆様が来町した。役場町民ホールでの研修には、当町議会議員も出席し、柴田清正議長、昆暉雄山田町議長あいさつの後、議会活性化の活動について活発な意見交換をおこなった。

また、街並みを散策しながら街並みづくり百年運動について、趣旨、これまでの経過と経済波及効果などを視察された。山田町では、東日本大震災による被害の復興に取り組んでおり、金山の取り組みを参考にし、それを推進するため議会のさらなる活性化を目指しているとのことであった。山田町の早期の復興と発展を祈念したい。



柴田議長歓迎のあいさつ



山田町議会議員



消防団主要幹部の皆さんと

安全・安心の確保を 消防団主要幹部と 語る会

(7/14)

消防団本部付分団長以上の主要幹部と議員の語る会を開催した。柴田清正議長あいさつ後、柿崎久芳分団長から消防団として抱える課題と活動報告を受けて意見交換を行った。全国的な課題である消防団員の確保や、県から女性消防団員の採用を要請されていること。また、団員の活動服の更新など幹部からの意見については、議会としても検討し、行政に確認しながら町の安全・安心の確保に努めていきたい。